



第121号 (季刊)  
平成29年1月  
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>



町内会長 和気 茂

平成29年の輝かしい新年を迎え、心よりお慶びを申し上げます。また昨年中は町内会活動に対しまして絶大なご支援、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。



### 子ども会の繁栄と地域の活力

◎昨年11月岡山市子ども会育成連絡協議会から「子ども会の実態調査」が送られて来ました。子ども会の目的・意義として、地域における子ども達の成長過程での、異年齢の友達との遊び経験や、いろいろな体験活動、また、お互いが尊重しあう中での人間形成などが重んじられてきているものの、子ども達の入会人数が年々減少してきている。今回の調査はこの現状を危惧し、活動支援の対策を図ろうというものです。

◎御南小学校区での子ども会への子どもの加入率はどうか。今から30年前は100%近い加入率であった。この加入率は年々減ってきて、現在では18%程度とのことです。この減少理由として考えられることは、生活態様の変化をはじめ、スポーツ部門はソフトボールとポートボールに固定されており選択肢が少なく、保護者も家庭の都合で、当番に出られないなどがあるのではないのでしょうか。

◎地域行事と子ども会との関わりあいは、何といっても地域の夏祭りや秋祭り、学区行事の運動会

などにおいても主役は子ども達であり、多くの参加がその行事を盛り上げてくれます。また、子ども会会員が増えれば、会をサポートする保護者も増え、子ども達を介して保護者同士の交流や親睦は、いつまでも続くものと思います。

◎さて、子ども会への入会率は改善できないだろうか？子ども会の役割の内、スポーツの部・文化面の部を置き、ソフトボール・ポートボールに偏らず、文化面にも重点を置いた活動を行う。例えば、子ども中心とした例会・もちつき大会・遠足・クリスマス会・地域のお祭りなどで、全会員が参加できるように努める。

新会員を募るに際しては、子ども会の目的・意義・活動内容等を保護者に明示することが大切なことと思います。

◎以上のようなことが、一朝一夕に実践できるとは思いませんが、地域に大勢の子ども達の話し声・駆け回る姿・親子共同で活動をする姿がよみがえれば、さらにふれあいの輪がひろがり、地域コミュニティの再生と強化につながると確信しております。どうか皆さんの、ご支援ご協力よろしくお願い致します。

❖昨年末に、世相を表す漢字は「金」に決まった。我が町内の皆様におかれましても「金」にあやかるような輝かしい、2017年になりますよう願っております。

